

SmartLife

-スマートライフ-

加古川市立加古川中学校
学 校 通 信
No. 12
2022/6/13

トライやる・ウィーク

6月5日（月）～9（金）の5日間、コロナ禍の影響が残っている事業所もあるにもかかわらず、94もの事業所のご協力をいただきました。本当に5日間、ありがとうございました。感謝の言葉しかありません。

今回は、修学旅行と重なり、事業所へのごあいさつがほとんどできませんでした。火・水・木の3日間の写真は、教頭先生が訪問した際に撮影した写真です。

1日目は、緊張しながらも、各事業所のプログラムにしたがって、さまざまな活動に挑戦しました。月曜日が休みの事業所の生徒は、学校で凧作りをしました。うまくあがらない凧もありましたが、多くの凧は、空高く舞いあがっていました。

2日目が初日の事業所もあり、まだまだ緊張している生徒も多いのですが、少しずつ慣れてきたそうです。火曜日以降が休みの生徒は、名刺づくりなどを行いました。

3日目は、活動にも慣れ、任された役割をテキパキとこなしたようで、大変たのもしく、うれしく思います。



4日目は、最終日に向けての準備や最後の仕上げに頑張っている生徒の姿をたくさん見たそうです。



5日目は、恒例の鳩里幼稚園の子どもたちが、お世話になっている中学生と一緒に、本校にやってきました。鯉に餌をあげる様子は、たいへん微笑ましく、1年生も大歓迎でした。他の多くの事業所では、5日間で学んだことをいかす発表会等が行われました。



5日間、本当に多くの方のお世話になり、生徒のみなさんは、多くの経験と学びがあったことでしょう。感謝の気持ちをこめて、7月20日（木）には発表会を行います。お楽しみに。

ワイタケシ・デー

令和5年6月12日（月）、ブラジلمリンガ市から20人の訪問団が来られました。岡田市長や副市長、教育長も一緒に来校されました。

最大の目的である本校のICTを活用した授業を、3つのグループに分かれて見てもらいました。

ブラジルは、ビジネスの世界ではICTが進んでいるようですが、学校では、生徒1人に1台の端末は整備されていないそうです。本校の授業の様子をご覧になられ、参考になることが多かったとマリンガ市長が話されていました。また、訪問団が教室に入っても、授業に集中している生徒が多いのには驚いたと話され、廊下で出会った時のポルトガル語のあいさつを喜んでおられました。

みなさんのあたたかい気持ちが伝わりましたね。

学校のホームページもご覧ください。

